

8月に入り、暑い日が続きますね。

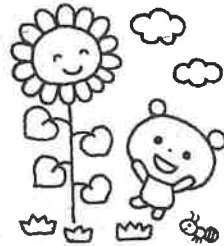
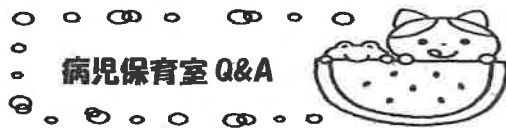
今年の夏は新型コロナウイルスの影響で夏休みが短くなったり、思うように外出を楽しむことができなったりと、いつもと違う過ごし方が必要になっています。大人も子どももストレスが溜まりがちな毎日ですが、感染症予防をしっかり行いながら、「体を動かしてあそぶ」「水分と休息をしっかり取る」「生活リズムを整える」「バランスのとれた食事をする」など、健康に夏を過ごせるようにしていきましょう。



R2.6・7月の利用者病名内訳



R2 年度 6・7 月の病児保育室の利用者の内訳では「上気道炎」による利用が全体の 7 割を占めました。その他「感染性胃腸炎」、「アデノウイルス」、「流行性耳下腺炎」が各 1 割ほどでした。年齢の内訳では 6・7 月の利用者全体の半数が 0~2 歳児、4 割が 3~5 歳児、1 割が小学生でした。



Q 発熱した子どもを預けたいけれど、食欲がないので心配です。

食事もおやつも「これなら食べてくれる」というものを何でも持たせてください。体調が悪いときこそ栄養を摂ってほしいですが、まずはお子さんがおいしく食べることが大切です。ゼリーや果物、アイスクリーム等、要冷凍・要冷蔵のものをお持ちになった場合は、荷物の引渡しの際に職員にお声がけください。



Q 他にも利用しているお友だちがいたら、うつし合ってしまうのでは？

全く感染の危険性がないとはいえませんが、病児保育室では疾病ごとに部屋を分けて過ごし、別の病気のお友だちと交わらないようにしています。日々職員の検温や手洗い・うがい、消毒・換気等十分配慮しています。

咽頭結膜熱(アデノウイルス)

ウイルス性の感染症で夏風邪の一つ。咳やくしゃみなどの飛沫感染のほか、目やにや便からも感染する。

- 症状**
- 39℃前後の高熱が 4~5 日続く
 - 目やに、目の充血
 - 咳、喉のはれや痛み
 - 頭痛、吐き気、腹痛、下痢など



- 対処法**
- タオル共用は避け、感染者の使ったタオルなどは、煮沸消毒した後洗濯しましょう。
 - 水分補給は十分にし、口当たりのよい食べ物を与えましょう。

手足口病

ウイルス性の感染症で夏風邪の一つ。咳やくしゃみなどの飛沫感染のほか、便からも感染する。

- 症状**
- 手のひら、足の裏、体に周囲が赤くて真ん中が白い楕円形で米粒大の水疱ができる。痛みやかゆみはない。
 - 口の中にも水疱ができ、痛みがあり、水疱が破れると食欲が落ちる。
- 薄味で口当たりのよい食べ物を与えましょう。
- 食後はぬるめのお茶を飲ませて、口の中をきれいにしましょう。
- しっかりと水分補給をしましょう。



市ホームページから [病児・病後児保育](#) [検索](#)

【予約・問い合わせ】病児・病後児保育専用施設 22-1121

※ 時間外・利用者がなく閉室する際は、中井保育園へ転送されます。